

誰もが読書を楽しめる 社会を目指して

— 読書のカタチを選べる「読書バリアフリー法」 —



出版業界の取組

ABSC(アクセシブル・ブックス・サポートセンター)

ABSCは、2023年4月に、一般社団法人 日本出版インフラセンター(JPO)に設立されました。「読書困難者の読書環境整備」と「出版者(出版社)のアクセシビリティへの取組支援」を目的としています。

ABSC ▶
<https://absc.jp/>



日本出版インフラセンター ▶
<https://jpo.or.jp/>



主な活動

『ABSCレポート』の制作と配布

出版業界の理解を深め、
取組を広く知らせることを目的としています。

ABSCレポート ▶

<https://absc.jp/archives/>



アクセシブル・ブックスの推進

アクセシブルな電子書籍に対応するコンテンツや配信サイトを増やすため、出版社や電子書店、閲覧アプリの環境整備に取り組んでいます。

スマートフォンなどで読む「電子書籍」をもっと使いやすくなるための準備をしています。
いろいろなサイトやアプリで、読みやすい本が増えるように取り組んでいます。

本のカatalog 「Books(ブックス)」

「Books」は、紙の書籍だけでなく、電子書籍やオーディオブックの情報を検索できるデータベースです。

アクセシビリティ情報などもすぐに分かります。
ぜひ、使ってみてください。

Books ▶

<https://www.books.or.jp/>



詳しくはこちらまで(本リーフレットの電子版もダウンロードできます)



文部科学省



総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室 / 地域学習推進課 図書館・学校図書館振興室
<https://kyouseisyakainomanabi.mext.go.jp/reading-barrier-free/>



厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

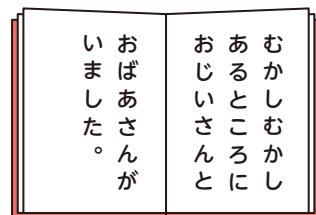


社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室
mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/sanka/bunka_00003.html

読みやすい本のいろいろ（アクセシブルな書籍等）

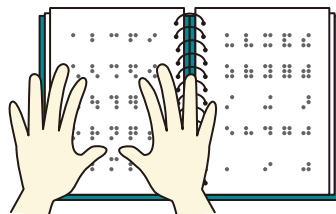
大活字本（拡大図書）

大きな文字で書かれた本です。
文字の形も見やすく工夫されています。



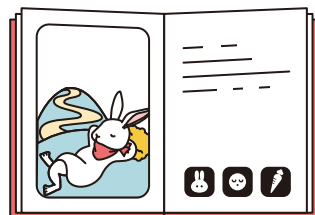
点字図書

指でさわって読む「点字」になっている本です。
図も触って分かる「点字付き絵本」などもあります。



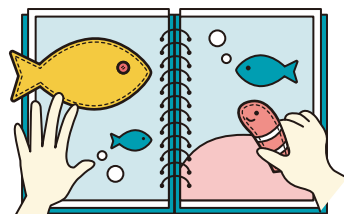
LLブック

やさしい言葉で書いてある本です。
絵や写真をたくさん使って、
内容が分かりやすくなっています。



布の絵本・さわる絵本

布や毛糸などで作られた絵本です。
絵をさわって楽しむことができます。
ボタンをとめたり、ひもを通したりする
仕掛けもあります。



デイジー（DAISY）※2

※2 「Digital Accessible Information System（アクセシブルな情報システム）」の略称です

専用の機器やパソコンなどで読んだり、聞いたりする本です。
読みたいページをすぐに選ぶことができます。

音声デイジー

本の内容を録音した声で聞くことができます。
図や写真の説明も声で流れます。
声の速さを変えることもできます。



マルチメディアデイジー

パソコンやタブレットなどを使います。
読んでいるところの文字の色が変わるので、
どこを読んでいるかすぐに分かります。
音でも文字でも読めます。
文字の大きさや、
背景の色を変えることもできます。



アクセシブルな電子書籍

スマートフォンやパソコンなどで読む本です。
文字の大きさや色などを、自分に合ったものに変えられます。
機器が文字を読み上げてくれる本もあります。

図書館で使えるサービス

公立図書館

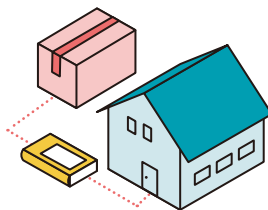
貸出・郵送などのサービス

いろいろな種類の本を借りることができます。
点字の本は誰にでも、デージーなど声を録音した本は、一部の障害者※に無料で送ることができます。
施設・学校などに本を届けてくれる図書館もあります。

※視覚障害者、送付元となる図書館が送料を負担する取りきめとしている障害者など

対面朗読サービス

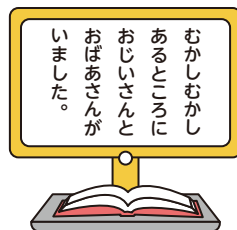
図書館の本や持参する本を、音訳者が直接読み上げます。
オンラインで読んでくれたり、
短い内容なら電話で読んでくれるところもあります。



機器の利用

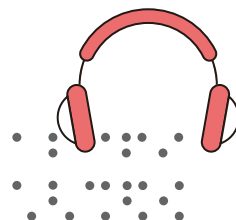
本を読むのを助けてくれる機器があります。
機器の使い方を教えてくれたり、貸してくれたりする
図書館もあります。

- 文字を拡大して表示する「拡大読書機器」
- 音声デージーなどを再生するための「デージー再生機器」やタブレット



点字図書館

本の録音・点訳・貸出を中心に、目の見えない・見えにくい方に向けた相談も受け付けています。福祉サービスや施設の紹介、視覚障害者用機器の使用方法的説明などです。蔵書にない印刷物の録音・点訳、対面朗読サービス、点訳・音訳をする人の養成も行っています。



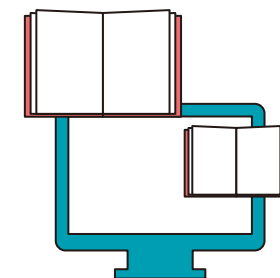
インターネットで使えるサービス

サピエ図書館

☎06-6441-1078

インターネット上の電子図書館です。
パソコンやスマートフォンなどで、40万タイトル以上の録音・点字・電子図書を読んだり、聞いたりできます。
録音・点字図書の貸出を依頼することもできます。
国立国会図書館（視覚障害者等用データ送信サービス）のデータも、一部を除いてサピエ図書館で利用できます。

（使うには、申し込みが必要です。
お近くの図書館か、サピエ事務局に聞いてみてください。）



sapie.or.jp/



みなサーチ（国立国会図書館障害者用資料検索） ☎0774-98-1458

自分に合った読みやすい形式の本を探せるサービスです。
だれでも無料で使うことができます。

- 点字、DAISY、テキストデータ、大活字本、LLブック、電子書籍、オーディオブック、バリアフリー映像資料など、いろいろな資料を検索できます。
- 全国のどの図書館に利用しやすい形式の資料があるのか、調べることができます。
- 検索した資料の中には、みなサーチからダウンロードできるものもあります。（要登録）



さらに、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、OCR（光学文字認識）を用いて作成した「全文テキストデータ」を利用できるのも大きな特徴です。

 **みなサーチ**
国立国会図書館障害者用資料検索

mina.ndl.go.jp

